

小学校国語科におけるローマ字学習について

1. ローマ字学習の目的について
2. ローマ字学習（指導）の内容について
3. ローマ字学習（指導）の困難点について



2022年12月23日
滋賀大学 長岡由記

Ⅰ. ローマ字学習の目的について

- ①小学校学習指導要領におけるローマ字学習（指導）の位置付け
- ②指導者は、ローマ字学習の目的をどのように捉えているのか

①小学校学習指導要領におけるローマ字学習（指導）の位置付け

※ローマ字に関する文言のみ抜粋, 色付け=引用者

●昭和22（1947）年発行（試案）

第一章三（二）

生活に必要な文字（ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字）や、かなづかいになれさせる。

第三章四（一）8 ローマ字で読み書きできるようにする。

●昭和26（1951）年発行（試案 改訂版）第六章「ローマ字の学習指導」

第二節 ローマ字の学習指導の一般目標は何か

ローマ字の学習指導の一般目標として、次のことがあげられる。

- 1 ローマ字を読みこなす力を養う。
- 2 自分の考えをローマ字で書き表わす力を養う。
- 3 ローマ字書きの決まりを身につけて、正しく表現する力を養う。
- 4 気軽にローマ字を使う習慣と態度を養う。

●昭和33（1958）年告示 ＊昭和36年4月施行

【第4学年】 ※年間20時間程度

- (3) 「、」(てん)をうち、またその他のおもな符号などの使い方を理解すること。（ローマ字文の場合を含む。）
- (8) ローマ字については、次の事項を指導する。
 - ア ローマ字で書いた語や簡単な文などを読むこと。
 - イ ローマ字で語や簡単な文を書くこと。

【第5学年】 ※年間10時間程度

- (6) ローマ字について、次の事項を指導する。
 - ア 第4学年で学習したことのうえにたって、簡単なローマ字の文章を読むこと。
 - イ わかち書きに注意して、ローマ字の文を書くこと。
 - ウ ローマ字に使われるおもな符号について理解すること。

【第6学年】 ※年間10時間程度

- (7) ローマ字については、次の事項を指導する。
 - ア 第5学年で学習したことのうえにたって、簡単なローマ字の文章を読むこと。
 - イ 正しくわかち書きをして、簡単なローマ字文を書くこと。

●昭和43（1968）年告示 ＊昭和46年4月施行

【第4学年】

3（4）第4学年において、ローマ字による日常ふれる程度の簡単な単語の読み書きを指導するものとする。

●昭和52（1968）年告示 ＊昭和55年4月施行

【第4学年】

〔言語事項〕（1）チ 日常使われる簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。

●平成元（1989）年告示 ＊平成4年4月施行

【第4学年】

〔言語事項〕（1）イ 文字に関する事項

（エ）日常使われる簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。

●平成10（1998）年告示 ＊平成14年4月施行

【第3学年及び第4学年】

〔言語事項〕（1）イ 文字に関する事項

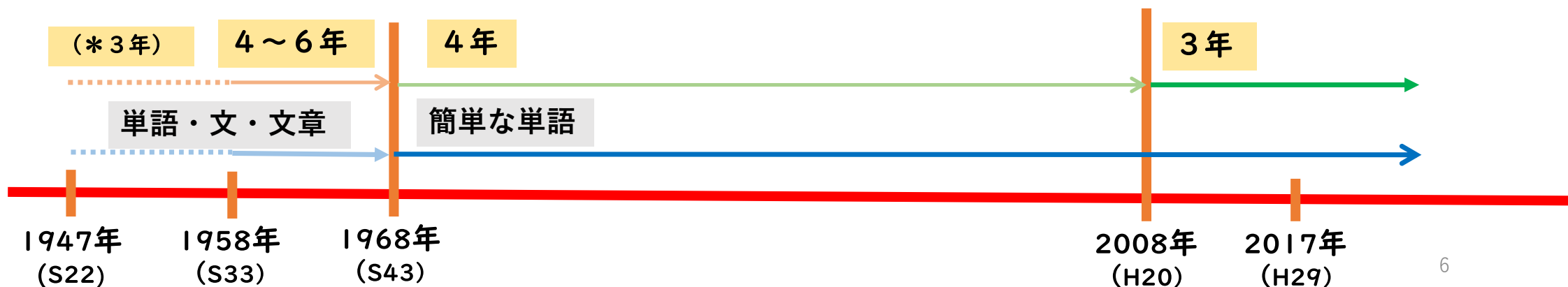
（ウ）第4学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。

●平成20（2008）年告示 ＊平成23年4月施行

【第3学年及び第4学年】

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕（1）ウ 文字に関する事項

（ア）第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。



●平成29（2017）年告示 ＊令和2年4月施行

第2節 第3学年及び第4学年の内容Ⅰ 〔知識及び技能〕（Ⅰ）言葉の特徴や使い方に関する事項

（Ⅰ）ウ 第3学年においては、**日常使われている簡単な単語**について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。

文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』

ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことは、ローマ字での読み書きについて示したものである。ローマ字表記が添えられた案内板やパンフレットを見たり、コンピュータを使ったりする機会が増えるなど、ローマ字は児童の生活に身近なものになっていることなどを踏まえ、第3学年で指導するものとする。

日常使われている簡単な単語とは、地名や人名などの固有名詞を含めた、児童が日常目にする簡単な単語のことである。

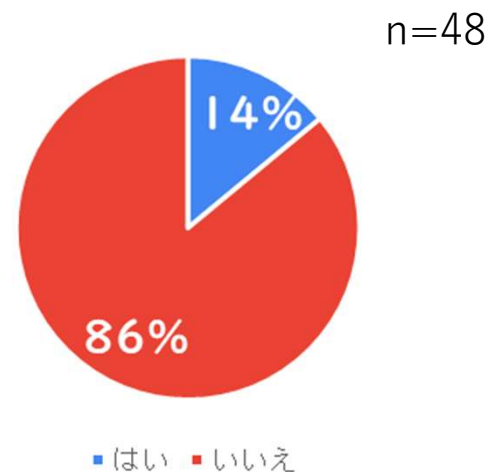
解説（つづき）

ローマ字の表記に当たっては、「**ローマ字のつづり方**」（昭和29年内閣告示）を踏まえることとなる。ここでは、「一般に国語を書き表す際には**第1表**に掲げたつづり方によるものとし、「従来の慣例をにわかに改めがたい事情にある場合に限り、**第2表**に掲げたつづり方によっても差し支えない」とされている。第1表（いわゆる訓令式）による表記の指導に当たっては、日本語の音が子音と母音の組み合わせで成り立っていることを理解することが重要である。**第2表（いわゆるヘボン式と日本式）による表記の指導に当たっては、例えば、パスポートに記載される氏名の表記など、外国の人たちとコミュニケーションをとる際に用いられることが多い表記の仕方を理解することが重要である。**

（p.79，色付け・下線＝引用者）

ローマ字の表記に当たっては、「**ローマ字のつづり方**」（昭和29年内閣告示）を踏まえることとなる。ここでは、「一般に国語を書き表す際には**第1表**に掲げたつづり方によるものと」し、「従来の慣例をにわかに改めがたい事情にある場合に限り、**第2表**に掲げたつづり方によっても差し支えない」こととされている。**第1表（いわゆる訓令式）**による表記の指導に当たっては、日本語の音が子音と母音の組み合わせで成り立っていることを理解することが重要である。**第2表（いわゆるヘボン式と日本式）**による表記の指導に当たっては、例えば、パスポートに記載される氏名の表記など、外国の人たちとコミュニケーションをとる際に用いられることが多い表記の仕方を理解することが重要である。（p.79, 色付け・下線=引用者）

●これまでに、「ローマ字のつづり方」（内閣告示第一号，昭和29年12月9日）を見たことがありますか。



2「内容の取扱いについての配慮事項」

（１）〔知識及び技能〕に示す事項については，次のとおり取り扱うこと。

ウ 第3学年におけるローマ字の指導に当たっては，第5章総合的な学習の時間の第3の2の(3)に示す，コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得し，児童が情報や情報手段を主体的に選択し活用できるように配慮することとの関連が図られるようにすること。

ローマ字に関する事項の取扱いを示している。

総合的な学習の時間における，**コンピュータで文字を入力するなどの学習との関連**が図られるよう，指導する時期や内容を意図的，計画的に位置付けることが重要である。（p.163，下線・色付け＝引用者）

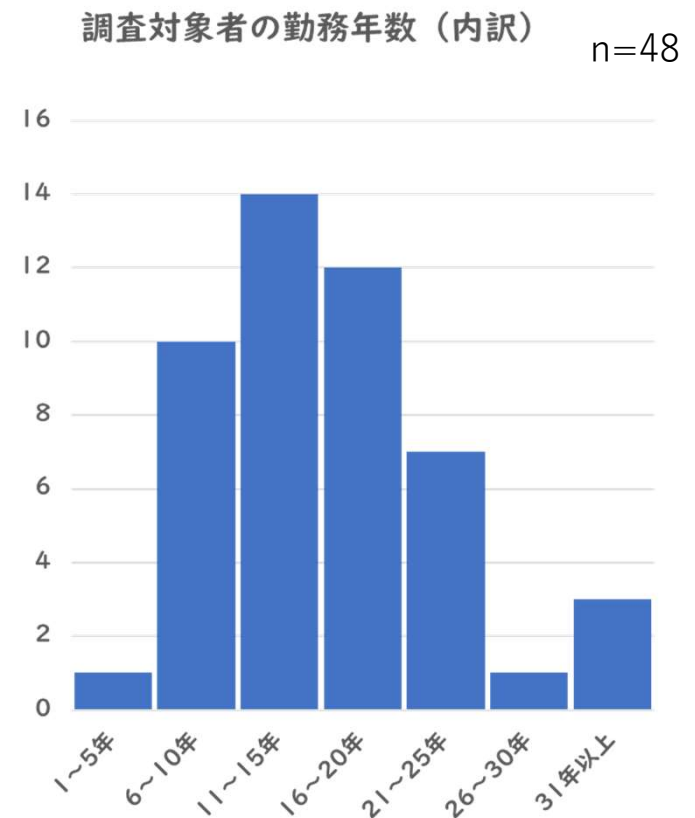
②指導者は、ローマ字学習の目的をどのように捉えているのか

質問紙調査による小学校国語科における
ローマ字学習指導の実態調査

【調査対象】 小学校教員経験者 48名
(現職教員及び研究機関所属教員)

【調査時期】 2022年12月5日～12月16日

【調査方法】 Google FormsによるWeb調査



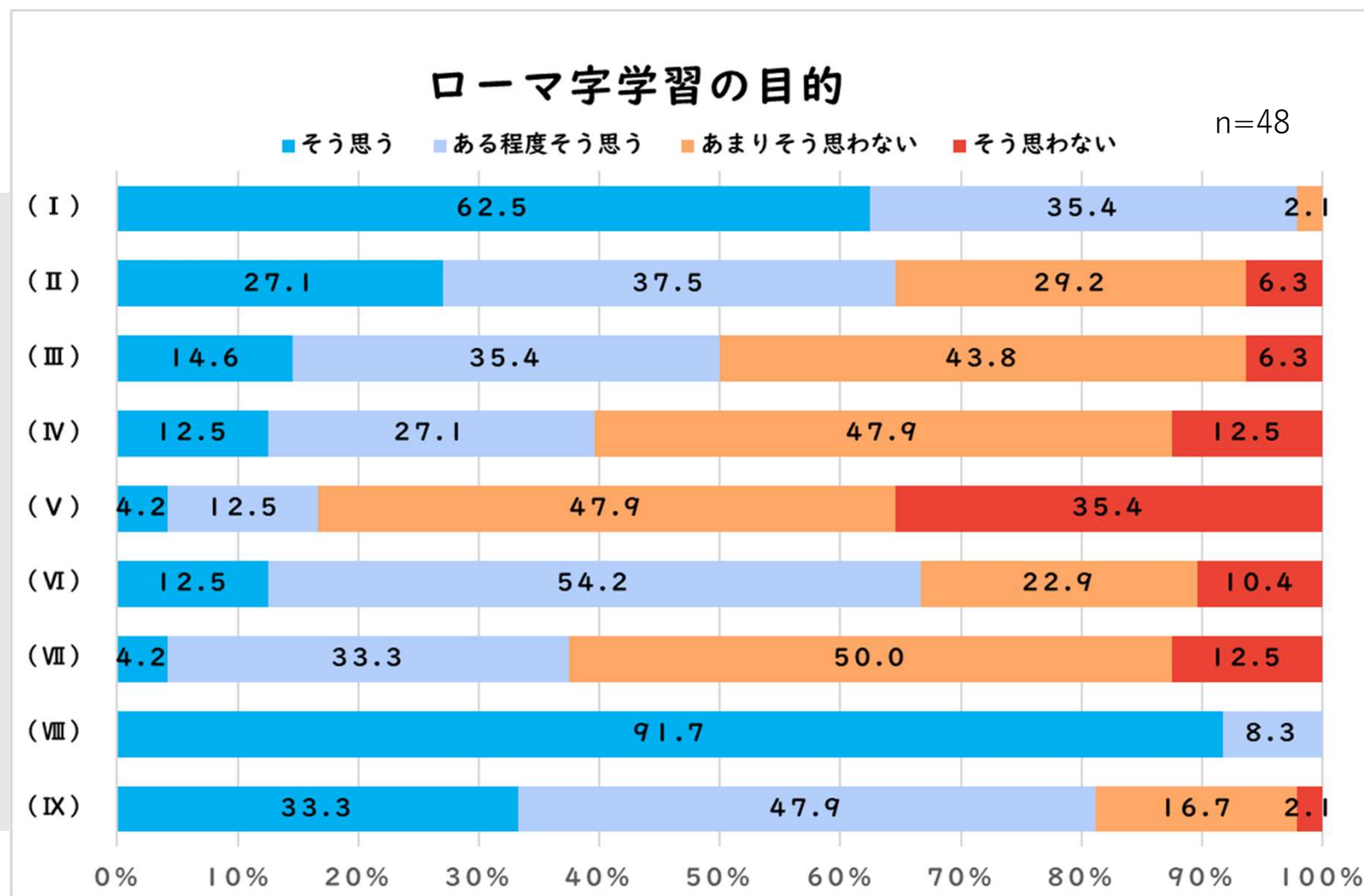
②指導者は、ローマ字学習の目的をどのように捉えているのか

●国語科におけるローマ字学習は、何のために行うと思いますか。それぞれの項目について、当てはまるものを一つずつ選んでください。

【そう思う，ある程度そう思う，あまりそう思わない，そう思わない】

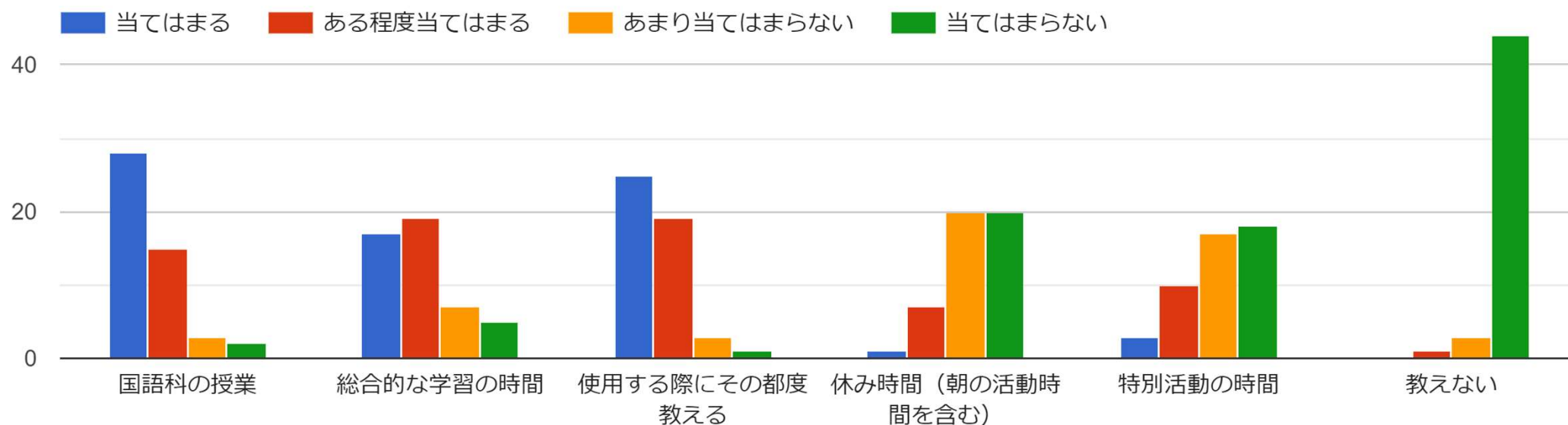
- (Ⅰ) ローマ字による語の読み方・書き方を理解するため
- (Ⅱ) ローマ字による文の読み方・書き方を理解するため
- (Ⅲ) 日本語の音声の捉え方の仕組みについて理解するため
- (Ⅳ) 日本語の単語について意識できるようにするため
- (Ⅴ) 日本語の文法について意識できるようにするため
- (Ⅵ) ローマ字で読み書きする習慣をつけるため
- (Ⅶ) 同音異義語の言い換えなど、耳で聞いただけで意味が分かる日本語の使い方について意識できるようにするため
- (Ⅷ) パソコンやタブレットにローマ字入力をする際に役立てるため
- (Ⅸ) 外国語(英語)教育におけるアルファベット学習に役立てるため

- (Ⅰ)語の読み書き
- (Ⅱ)文の読み書き
- (Ⅲ)日本語の音声の捉え方の仕組み
- (Ⅳ)単語意識
- (Ⅴ)文法意識
- (Ⅵ)読み書きする習慣
- (Ⅶ)分かりやすい日本語の使い方への意識
- (Ⅷ)ローマ字入力に役立てるため
- (Ⅸ)アルファベット学習に役立てるため



●あなたは、パソコンやタブレットにローマ字入力をする方法を、どの時間に教えますか。それぞれの項目について当てはまるものを、一つずつ選んでください。

n=48



2. ローマ字学習（指導）の内容について

- ①小学校国語教科書におけるローマ字学習の内容
- ②授業で実際に取り上げられている学習（指導）内容
- ③複数のつづり方について

①小学校国語教科書におけるローマ字学習の内容

(1) ウ 第3学年においては、**日常使われている簡単な単語**について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。

- ・ローマ字表記について（ローマ字表，＊アルファベット）

＊日本語と外国語（英語）の比較【5年】

- ・ローマ字の書き方（母音と子音の組み合わせ）
- ・身の回りにあるローマ字表記
- ・ローマ字の決まり
 - ①拗音 ②長音（のばす音） ③促音（つまる音） ④撥音（はねる音）
 - ⑤大文字と小文字，「-」（人名や地名の書き方）
- ・複数の書き方

ローマ字表

光村図書『国語三上わかば』p.127

■ローマ字

大文字 小文字	ア段 A/a	イ段 I/i	ウ段 U/u	エ段 E/e	オ段 O/o			
ア行	あ a	い i	う u	え e	お o			
カ行	K/k か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
サ行	S/s さ sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ sha [sha]	しゅ syu [shu]	しょ syo [sho]
タ行	T/t た ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tya [cha]	ちゅ tyu [chu]	ちよ tyo [cho]
ナ行	N/n な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
ハ行	H/h は ha	ひ hi	ふ hu [fu]	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
マ行	M/m ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
ヤ行	Y/y や ya	(い) i [i]	ゆ yu	(え) e [e]	よ yo			
ラ行	R/r ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
ワ行	W/w わ wa	(い) i [i]	(う) u [u]	(え) e [e]	を o [wo]			
ン	ん n							
ガ行	G/g が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
ザ行	Z/z ざ za	じ ji [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya [ja]	じゅ zyu [ju]	じょ zyo [jo]
ダ行	D/d だ da	ぢ (zi) [di]	づ (zu) [du]	で de	ど do	ぢゃ (zya) [dya]	ぢゅ (zyu) [dyu]	ぢょ (zyo) [dyo]
バ行	B/b ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
パ行	P/p ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo

[] の中の書き方も使うことができる。() は、かさねて出しているもの。

複数の書き方

※ () は教科書のローマ字表には記されていない。

かな	訓令	日本	ヘボン	かな	訓令	日本	ヘボン
し	si		shi	しゃ	sya		sha
				しゅ	syu		shu
				しょ	syo		sho
ち	ti		chi	ちゃ	tya		cha
				ちゅ	tyu		chu
				ちよ	tyo		cho
じ	zi		ji	じゃ	zya		ja
				じゅ	zyu		ju
				じょ	zyo		jo
ぢ	zi	di	(ji)	ぢゃ	zya	dya	(ja)
				ぢゅ	zyu	dyu	(ju)
				ぢょ	zyo	dyo	(jo)
つ	tu		tsu				
づ	zu	du	zu				
ふ	hu		fu				
を	o	wo	o				

ローマ字入力表

東京書籍『教師用指導書 研究編 新しい国語三下』p.38

あ	あ	A	い	I	う	U	え	E	お	O			
か	か	KA	き	KI	く	KU	け	KE	こ	KO	きや	きゅ	きよ
さ	さ	SA	し	SI (SHI)	す	SU	せ	SE	そ	SO	しゃ	しゅ	しよ
た	た	TA	ち	TI (CHI)	つ	TU (TSU)	て	TE	と	TO	ちゃ	ちゅ	ちよ
な	な	NA	に	NI	ぬ	NU	ね	NE	の	NO	にや	にゅ	によ
は	は	HA	ひ	HI	ふ	HU (FU)	へ	HE	ほ	HO	ひや	ひゅ	ひよ
ま	ま	MA	み	MI	む	MU	め	ME	も	MO	みや	みゅ	みよ
や	や	YA			ゆ	YU			よ	YO			
ら	ら	RA	り	RI	る	RU	れ	RE	ろ	RO	りや	りゅ	りよ
わ	わ	WA							を	WO			
	ん	NN											
が	が	GA	ぎ	GI	ぐ	GU	げ	GE	ご	GO	ぎや	ぎゅ	ぎよ
ざ	ざ	ZA	じ	ZI (JI)	ず	ZU	ぜ	ZE	ぞ	ZO	じゃ	じゅ	じよ
だ	だ	DA	ぢ	DI	づ	DU	で	DE	ど	DO	ぢや	ぢゅ	ぢよ
ば	ば	BA	び	BI	ぶ	BU	べ	BE	ぼ	BO	びや	びゅ	びよ
ぱ	ぱ	PA	ぴ	PI	ぷ	PU	ぺ	PE	ぽ	PO	ぴや	ぴゅ	ぴよ

ぢ : DI
づ : DU

ぢゃ : DYA
ぢゅ : DYU
ぢよ : DYUO

を : WO

ん : NN

小学校国語教科書（３年）における複数の書き方の採録状況

かな	訓令	日本	ヘボン	*入力	A社		B社		C社		D社		かな	訓令	日本	ヘボン	*入力	A社		B社		C社		D社							
					表記	入力	表記	入力	表記	入力	表記	入力						表記	入力	表記	入力	表記	入力	表記	入力						
し	si	shi		いし	○	○	すし	○	はし	しま	○	しゃ	sya	sha		ふうしゃ		しゃしん	○	しゃりん				○							
												しゅ	syu	shu														○			
												しょ	syo	sho														○			
ち	ti	chi		まち	○	まち	○	みち		みち	○	ちゃ	tya	cha				○		○	ちやいろ			○							
												ちゅ	tyu	chu																	
												ちょ	tyo	cho																	
じ	zi	ji				ふじさん	○					じゃ	zya	ja																	
												じゅ	zyu	ju													じゅうどう				
												じょ	zyo	jo																	
ぢ	zi	di	(ji)	DI		○	○	○			○	ぢゃ	zya	dya	(ja)	DYA															
												ぢゅ	zyu	dya	(ju)	DYU															
												ぢょ	zyo	dya	(jo)	DYO															
つ	tu	tsu		てつ		まんげつ				つる																					
づ	zu	du	zu	DU		○	みかづき	○		○		○																			
ふ	hu	fu		ふうしゃ	○	ふじさん	○	ふね	○	ふろ	ふた	○																			
を	o	wo	o	WO		○		○	○		○																				
ん	n	(m) n	NN		○		○		○		○																				

※漢字表記は平仮名表記にかえて、該当するローマ字表記に下線が引いてあるものについては、ひらがなの該当箇所に下線を引いた。

※（ ）に記したつづり方は、教科書のローマ字表には掲載されていない。

身の回りで目にするローマ字表記（案内板・掲示板等）の採録状況

資料Ⅰ

漢字かな表記	ローマ字表記
上尾	Ageo
上野	Ueno
海ほたる	Umihotaru
えびす	Ebisu
おおさか	Ōsaka
大崎	Ōsaki
大宮	Ōmiya
押上	Oshiage
鍛冶橋通り	KAJIBASHI DŌRI
北区王子一丁目17	Ōji 1-chōme Kita-ku
交番	KOBAN
交番（浅草警察署雷門交番）	KOBAN
交番（大宮東警察署春岡交番）	KOBAN
さいたま	Saitama
品川	Shinagawa
品川区旗の台六丁目	Shinagawa-ku Hatanodai 6
しぶや（渋谷）	Shibuya
新大阪	Shin-Ōsaka
神保原	Jimbohara
新町	Shimmachi
田町	Tamachi
東京	Tōkyō
徳地	Tokuji
中原街道	Nakahara-kaidō
はらじゅく	Harajuku
ひがしよどがわ	Higashi-Yodogawa
本庄	Honjō
元荒川	Motoarakawa
山口	Yamaguchi

資料Ⅰは、現行版の小学校国語教科書（3年）4社に採録されている「案内板・掲示板等（イラストを含む）」に記されているローマ字表記を抜き出して、五十音順に並べ替えたものである。

長音符号 → 「ō」「õ」

ローマ字表に記載なし（※全ての教科書）：ぢーji，んーm

ぢ → 徳地（とくぢ）：Tokuji

ん（m） → 神保原（じんぼはら）：Jimbohara

新町（しんまち）：Shimmachi

①小学校国語教科書におけるローマ字学習の内容（※入力方法）

2 「内容の取扱いについての配慮事項」

【ローマ字入力の学習について】

- ・「入力」について（ローマ字選択→ひらがな（→変換））
 - ・書き方が二つあるもの
 - ・「ぢ」「づ」「を」「ん」
 - ・のばす音（長音） ※平がなで書かれたとおりに打つ。
※片仮名の言葉は、「ー」を打つ。
 - ・つまる音（促音） ※「っ」の次の音のはじめの文字を重ねて打つ。
 - ・＊変換 （例：「きしゃ」―「1 記者 2 帰社 3 汽車 4 きしゃ 5 キシャ」）
- ※コンピュータによっては、ちがう打ち方で入力するものがあること。

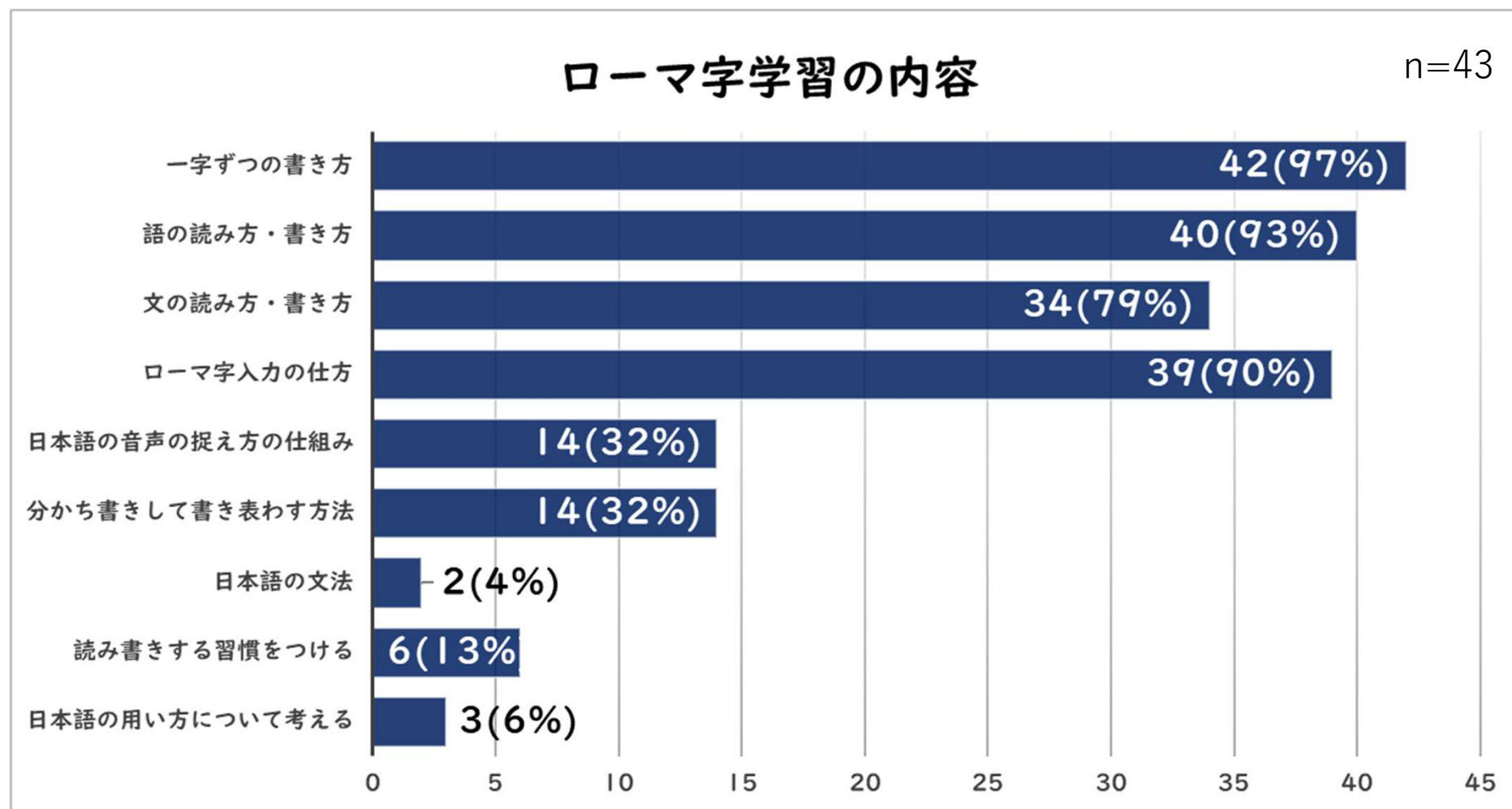
②授業で実際に取り上げられている学習（指導）内容

＊「これまでに、児童にローマ字を教えたことがありますか」
→「はい」と回答した方のみを対象とした質問項目

●小学校国語科の授業で、実際に取り上げたことのあるローマ字学習の内容を、全て選んでください。

- ・ローマ字一字ずつの書き方を教える
- ・ローマ字表記（語）の読み方・書き方を教える
- ・ローマ字文の読み方・書き方を教える
- ・ローマ字入力の仕方を教える
- ・ローマ字を用いて日本語の音声の捉え方の仕組みについて教える
- ・ローマ字文を単語や文節などに分ち書きして書き表わす方法を教える
- ・ローマ字文を用いて日本語の文法を教える
- ・ローマ字で読み書きする習慣をつける学習活動を行う（例：ローマ字で日記を書く）
- ・ローマ字文を用いて、同音異義語の書き換えなど耳で聞いただけで意味が分かる日本語の用い方について考える学習活動を行う

②授業で実際に取り上げられている学習（指導）内容

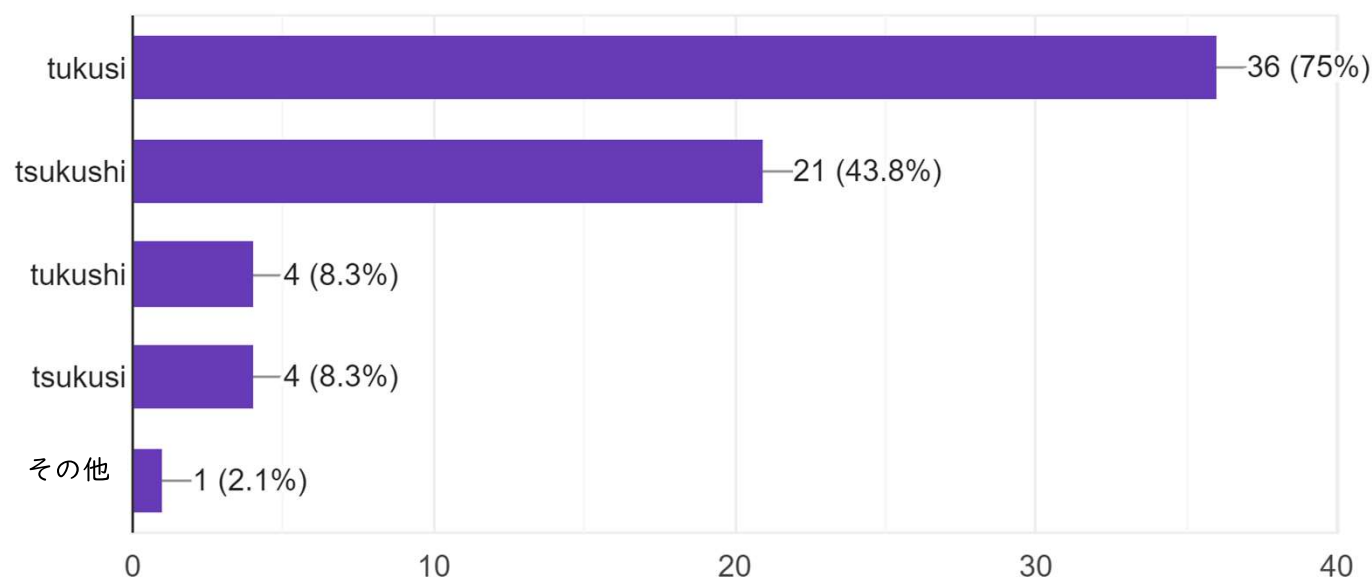


③複数のつづり方について

●あなたが「つくし」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

①小学校国語科の授業で、児童にローマ字の書き方を教えるために板書する場合

48 件の回答

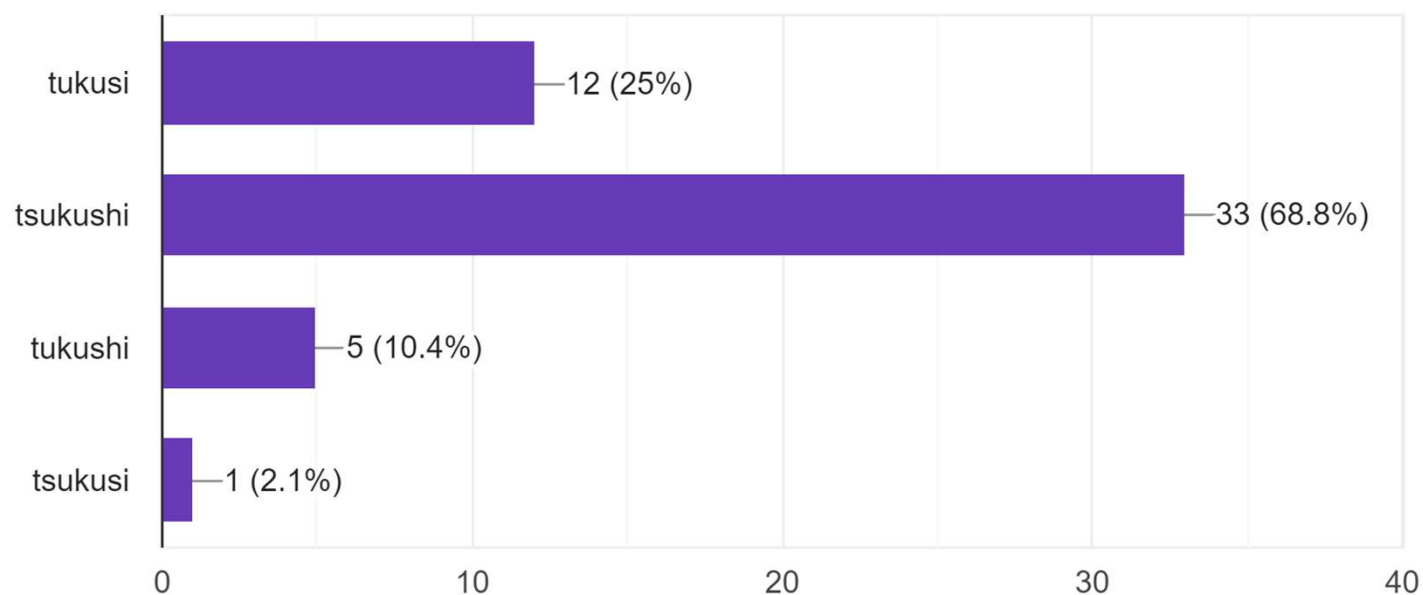


*その他：入力の場合はTukusiであることも取り上げます。 24

●あなたが「つくし」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

②日常生活で、自分が手書きで書く場合

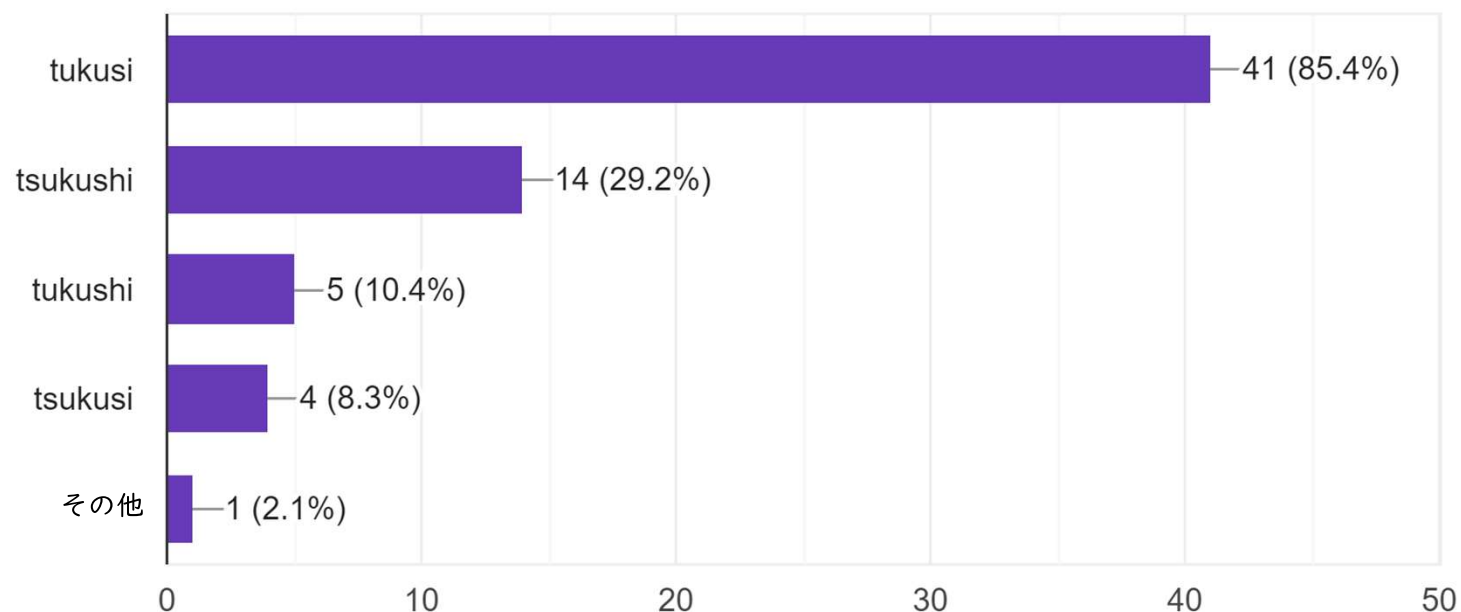
48 件の回答



●あなたが「つくし」をローマ字で書くなれば、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

③小学校国語科の授業で、児童にローマ字入力の方法を教える場合

48 件の回答

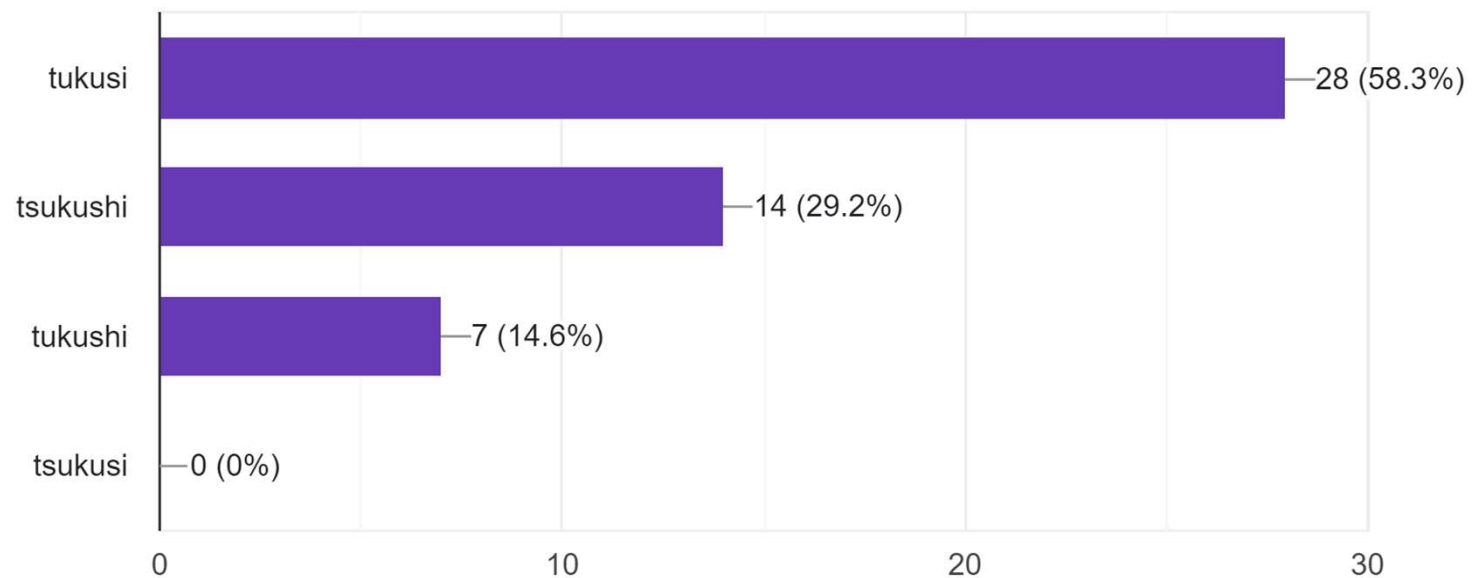


*その他：上で選択したもの以外も許容

●あなたが「つくし」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

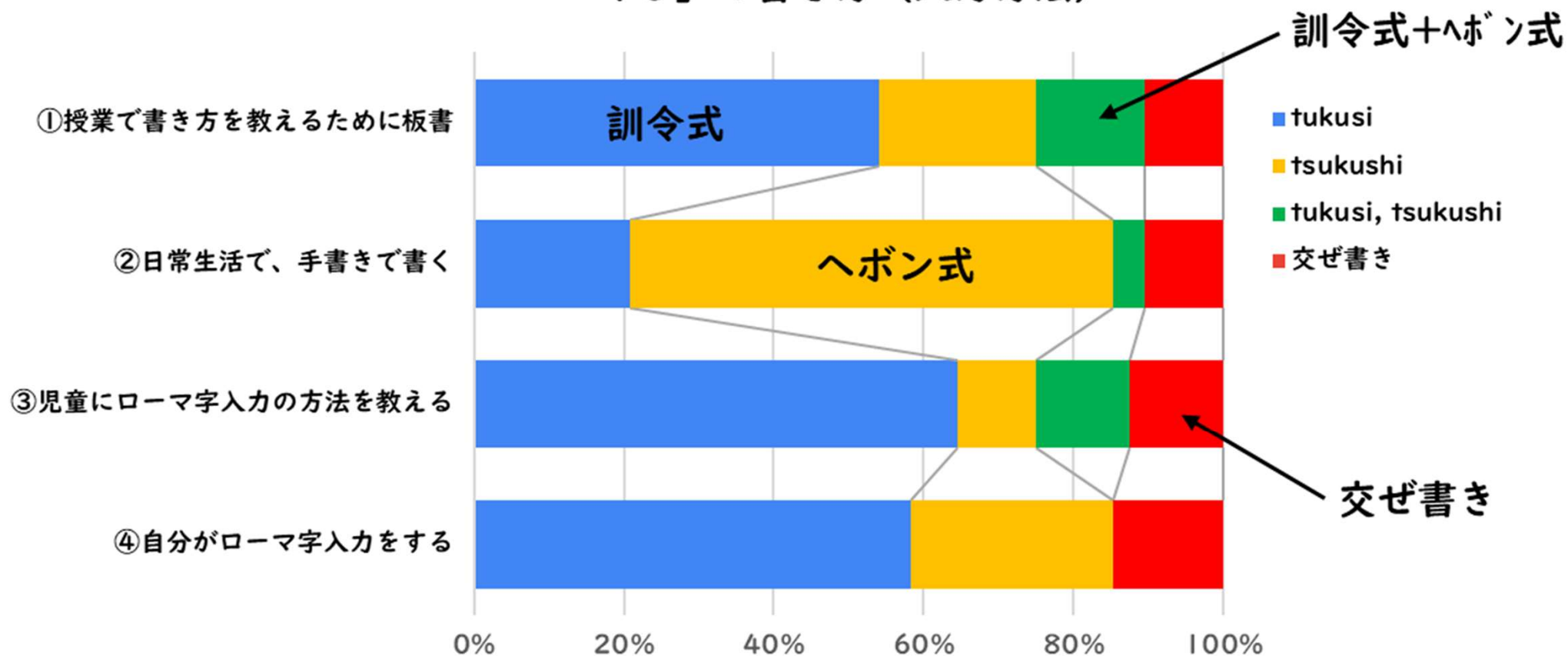
④日常生活で、自分がローマ字入力をする場合

48 件の回答



●あなたが「つくし」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

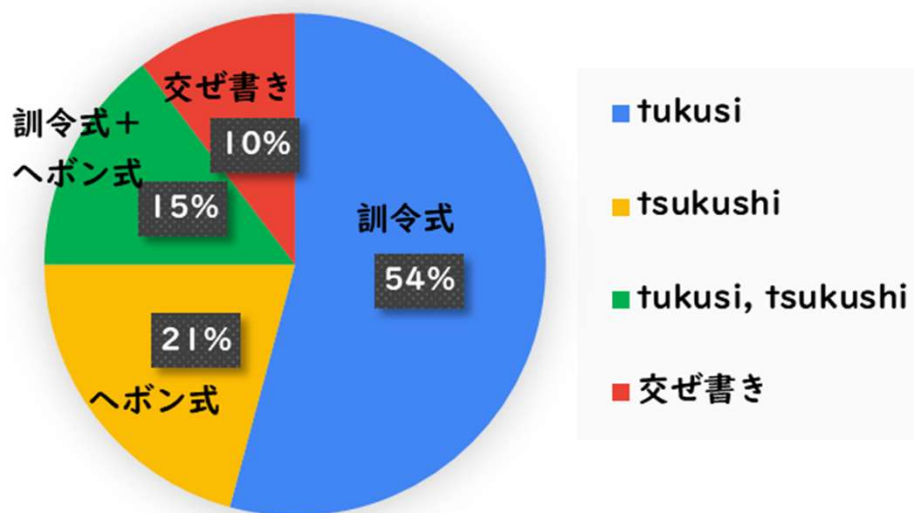
「つくし」の書き方（入力方法）



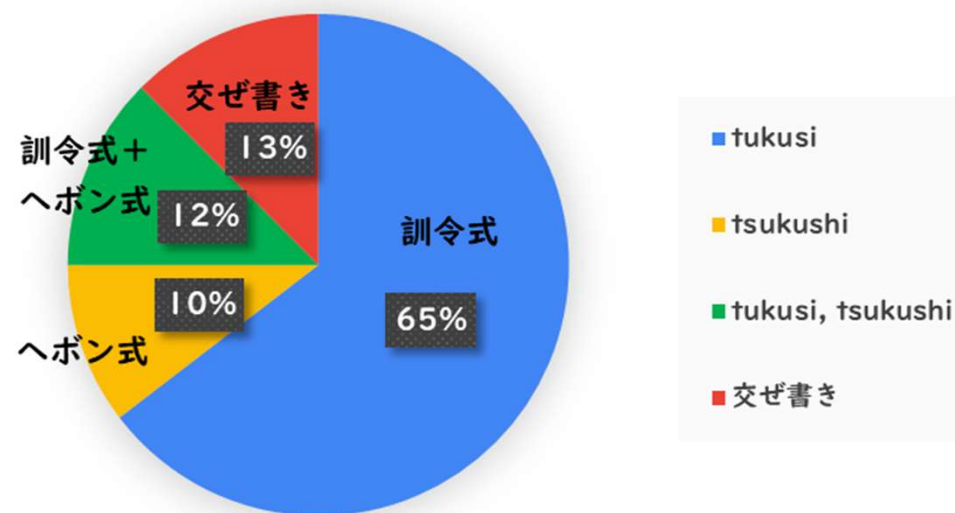
※「交ぜ書き」は、「tsukushi」「tsukusi」を含む選択を全てまとめたものである。

●あなたが「つくし」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

①ローマ字表記



③ローマ字入力の方法

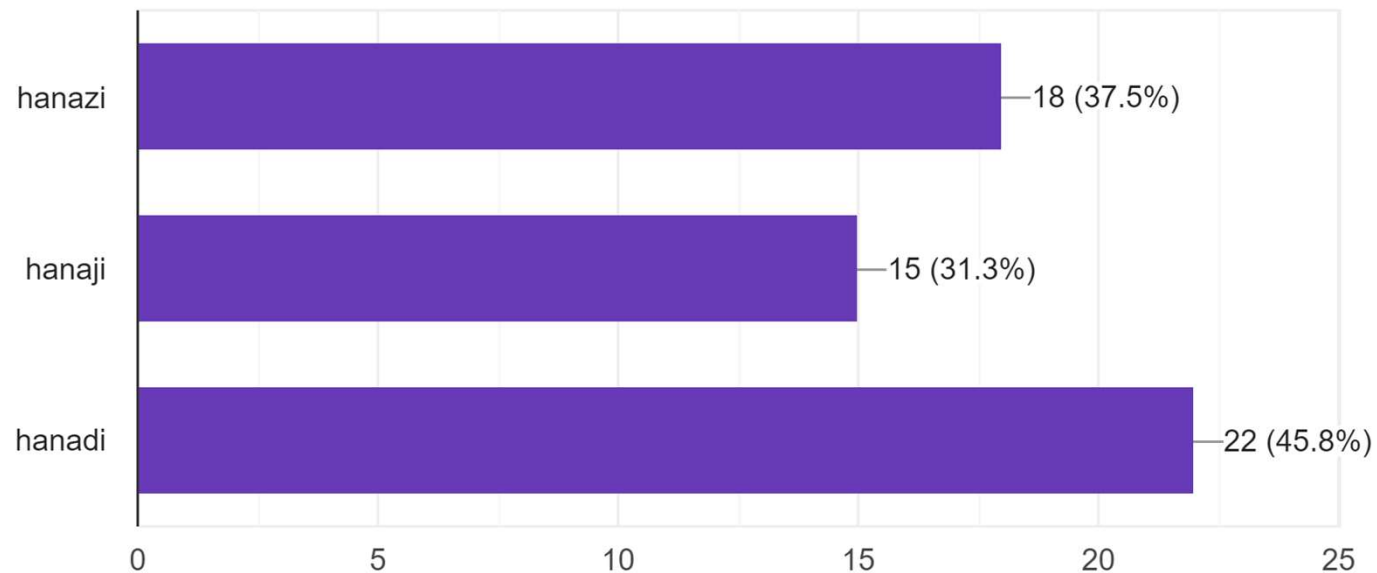


※「交ぜ書き」は、「tukushi」「tsukusi」を含む選択を全てまとめたものである。

●あなたが「鼻血（はなぢ）」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

①小学校国語科の授業で、児童にローマ字の書き方を教えるために板書する場合

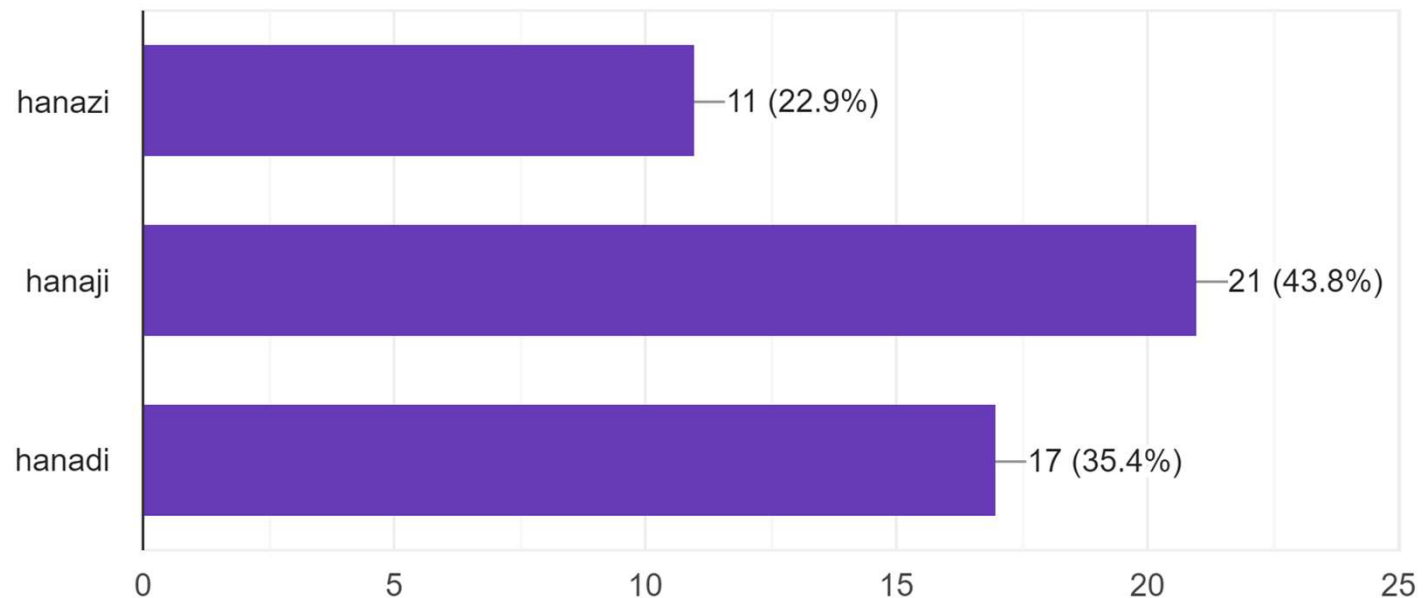
48 件の回答



●あなたが「鼻血（はなぢ）」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

②日常生活で、自分が手書きで書く場合

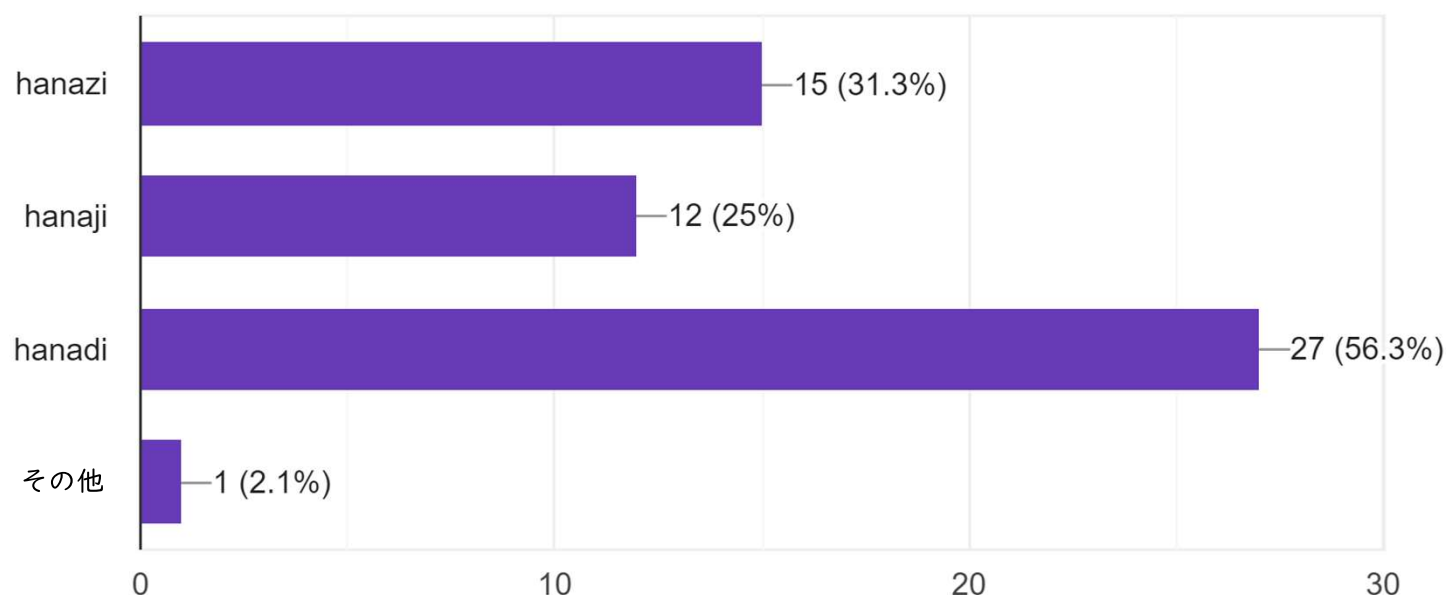
48 件の回答



●あなたが「鼻血（はなぢ）」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（＊複数回答可）

③小学校国語科の授業で、児童にローマ字入力の方法を教える場合

48 件の回答

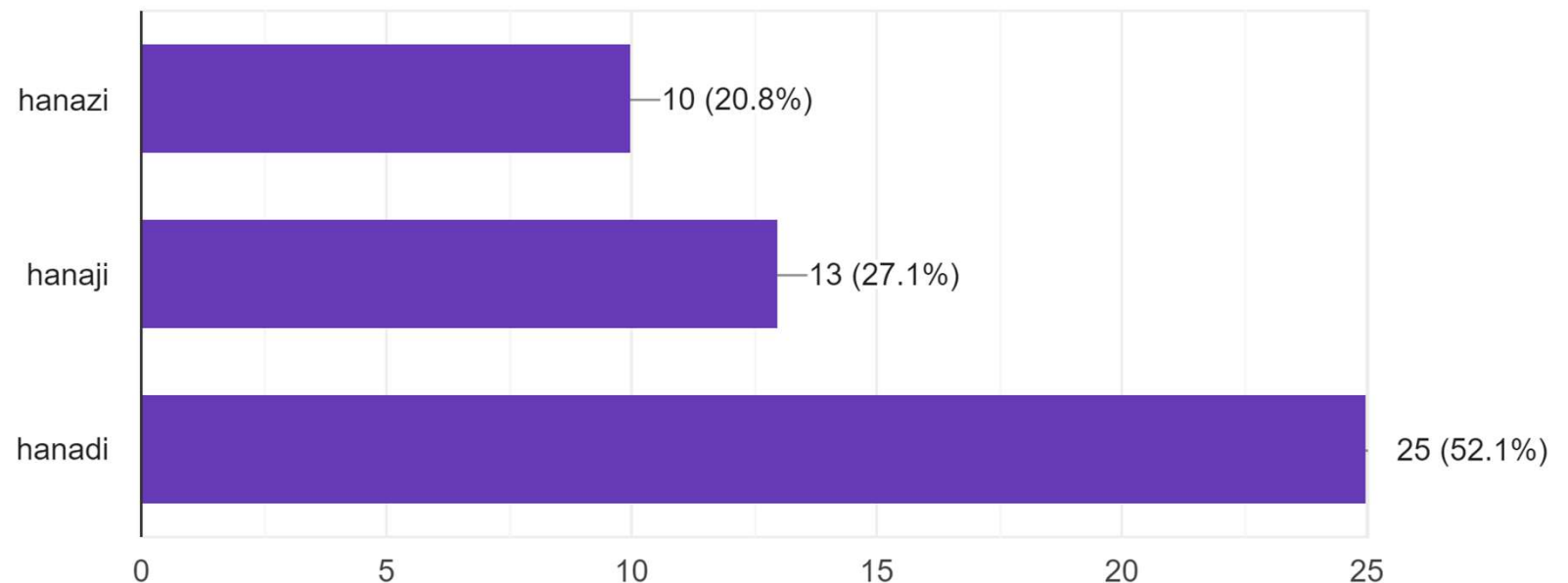


＊その他：上で選択したもの以外も許容

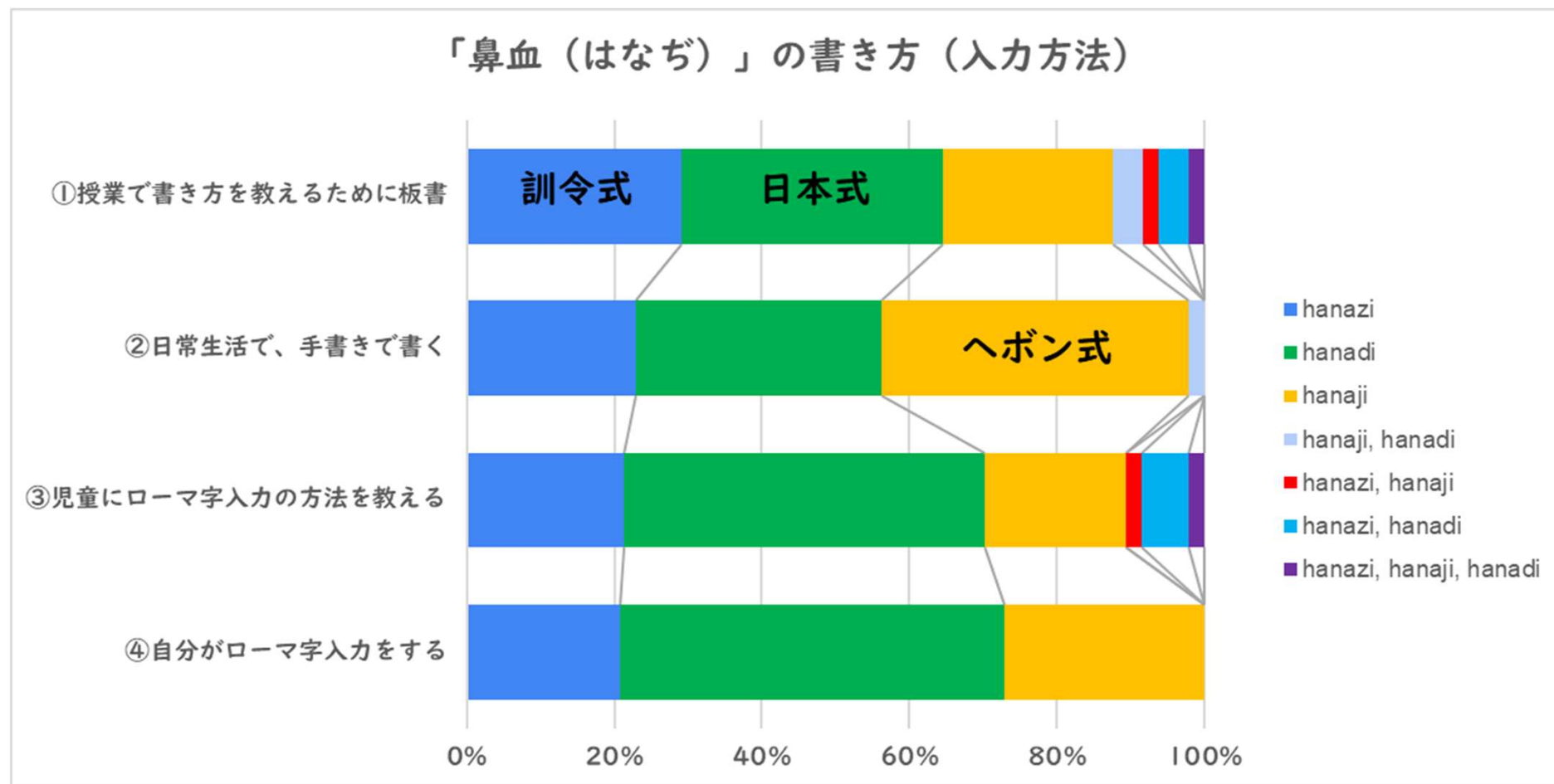
●あなたが「鼻血（はなぢ）」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

④日常生活で、自分がローマ字入力をする場合

48 件の回答

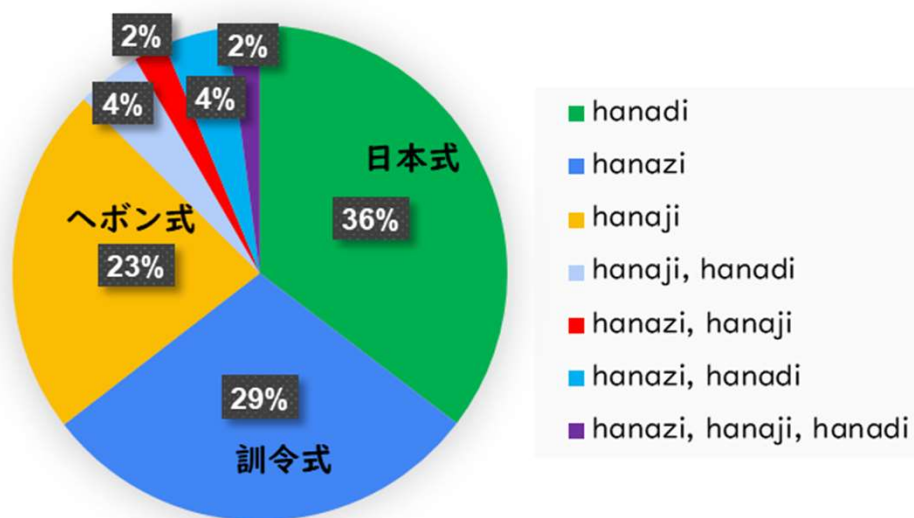


●あなたが「鼻血（はなぢ）」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

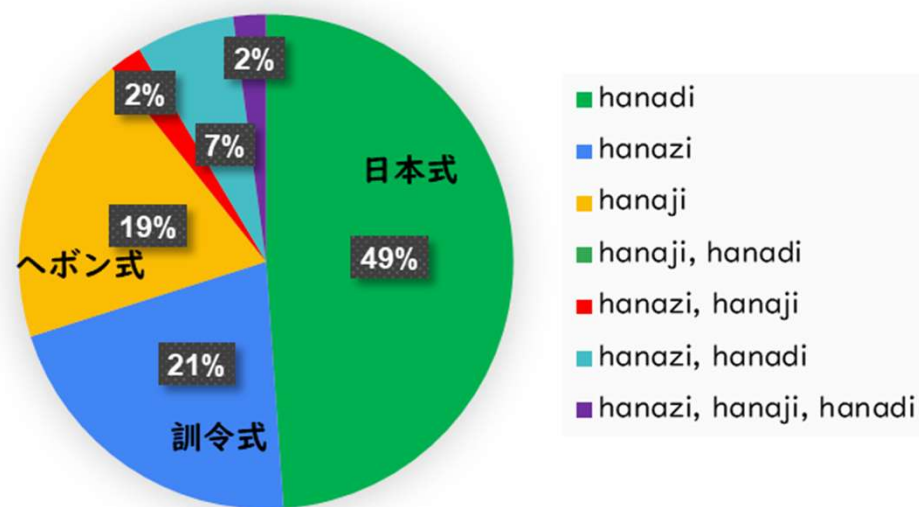


●あなたが「鼻血（はなぢ）」をローマ字で書くなら、どの書き方で書きますか（入力しますか）。それぞれの場面に当てはまる書き方（入力の仕方）を全て選んでください。（*複数回答可）

①ローマ字表記



③ローマ字入力の方法



3. ローマ字学習（指導）の困難点について

●ローマ字学習やローマ字入力の学習の際に、困ったことや印象に残っている児童の様子などについて、どんなことでも良いので教えてください。（＊自由記述）

複数のつづり方について

- ・ 結局何が正しいのか分からないまま指導している
- ・ どんな状況の時には、ヘボン式なのか？通常は何式なのか？など児童に明確に伝えることができなかった。
- ・ jiかziかshiなどで迷った児童がいるし、テストの採点も迷う。
- ・ のばす音（母音の上に記号）の扱いに迷う。「し」や「ち」のように書き方が二つあるものもあるということをどう理解させたらよいかわからない。
- ・ 教師である自分も統一された綴り方とは異なる部分があり、そこを矯正すべきかどうか迷う所があった。そのため、多様な綴り方を許容していることが良いことかどうか判断に困る。

国語科と外国語活動・外国語（英語）科の学習について

- ・ 国語科で習ったローマ字の書き方と、外国語で習うヘボン式ローマ字の違いに戸惑う児童が多かったことが印象に残っています。
- ・ 英語で使う場合と表記が異なる
- ・ 英語との違いを、どう差別化するか
- ・ 実際の生活でそのような表し方をしないのではじめからヘボン式で教えたい。特に英語の学習に書く活動が入ってきたがヘボン式で習ってきていないので**教え直す必要がある**が、子どもたちにとしてみると以前習ったこととのちがいに違和感がある。しかし三年生の発達段階では難しいようにも思う。

定着の難しさについて

- ・書き・読みは**定着が難しい**です。一方で、タブレットやパソコンへの入力には慣れる時間が短いように思います。
- ・ローマ字を教えると、進んで使おうとする姿がよく見られた。しかし、定着させることが難しく、ワークを買ったり、日記を書かせて指導をしても、**3年生が終わるとローマ字で書く機会はなくなり**、継続して書く児童は少ない。
- ・国語科におけるローマ字の練習の時間をどこにあてるか困った**(時間の確保)**
- ・**学習内容が多すぎ**て、継続して練習する時間の確保が難しいので、低位の子ほど定着しないまま終わる。

個人差について

- ・子ども達の**個人差**が大きすぎることに
- ・興味をもつ子ともたない子の個人差が大きく、ひきあげるのが難しい
- ・すでにローマ字を知っている、学習している子と全く初めてローマ字にふれる子との差が激しい

大文字・小文字について

- ・書くときに**小文字と大文字の区別**がつきにくくなっている児童がいた。
- ・最近では小文字を主に学習するため、大文字が読めない児童が多い。
- ・g(グラム)など、筆記体表記のものが意外と多く、身の回りから**ローマ字を見つける活動がやりにくい**(駅の表記が大文字なのも)。

外来語表記について

- ・ 拗音から入力（lya, xya）するときや，「ディスク」「カートゥーン」「ヴァイオリン」などの日本語にはない音を入力する際に，戸惑いがみられることがあります。高学年であれば，堪能な児童が周囲の子に入力の仕方を教えるなどして，自分たちで解決することが多いです。

日本語をローマ字でつづる必要性について

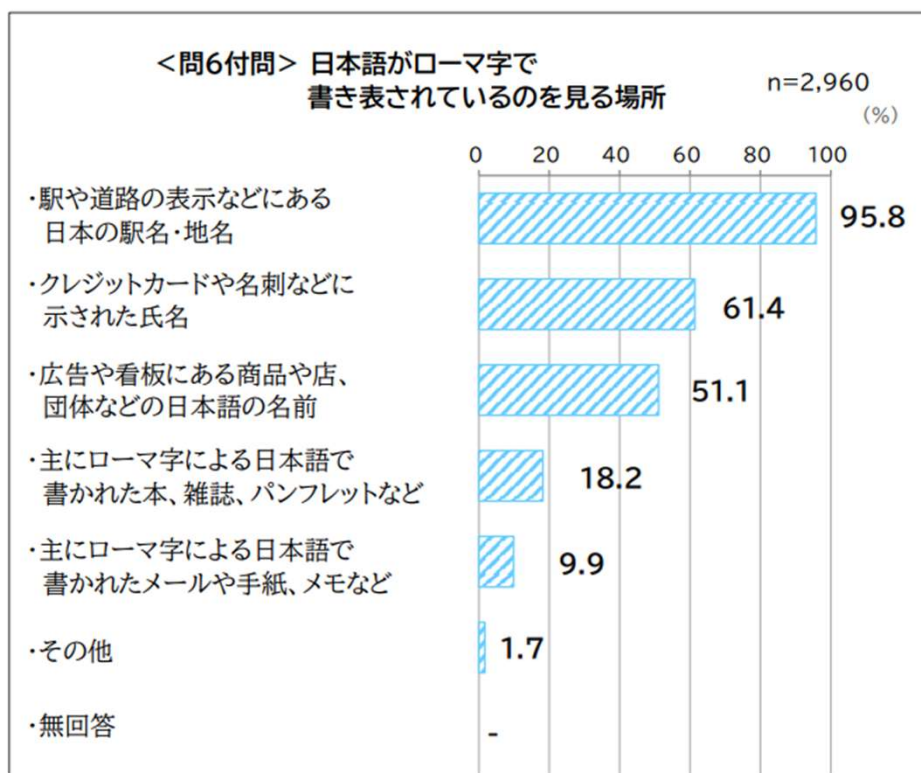
- ・ **実際に書くことが必要であるのか疑問を持ちながら練習ノートを使っていたこと。**

日本語の特質

- ・ **母音と子音 読み方や書き方の規則性**が分かると、読めることが嬉しそうに、身の回りのローマ字を読んでいた。

令和3年度「国語に関する世論調査」の結果の概要（文化庁、2022）

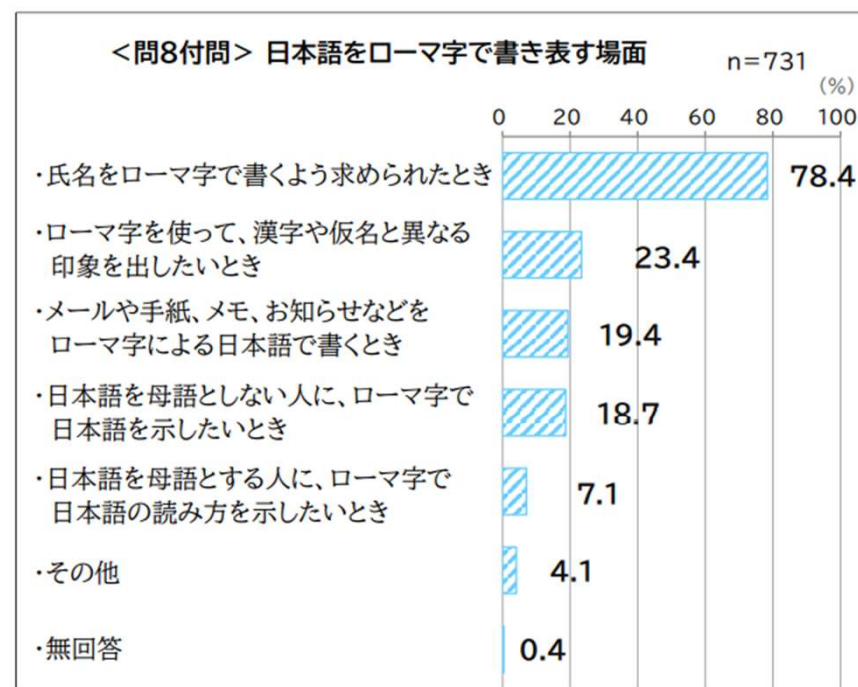
https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/pdf/93767401_01.pdf



(p.18)



(p.21)



(p.22)

主な課題

1. 学習内容は多いが、与えられている時数は少ない。
2. 複数のつづり方があるが、学習における扱い方が難しい。
＊外国語活動・外国語（英語）科との違い
＊身の回りにあるローマ字表記は、学習対象外の表記法を含む場合もある。
3. ローマ字入力の方法の理解については、国語科が大きな役割を担っている。（ただし、時数は少ない。）
4. 小学校学習指導要領では、「語」の読み書きを学習対象として設定しているが、ローマ字入力は実用の側面から「文」（または文章）も学習対象にする必要がある。
5. 実生活において、日本語をローマ字（特に訓令式）で書く機会が少ない。（定着の難しさ）